

治療の経過

2017年8月10日（初診/通院）

吃音の程度の測定と、
今後の治療概要についての説明を受けた。

吃音重症度スケール

今回（2017年8月10日）：8

<吃音検査結果>

朗読:速度 111spm 吃音 10.4%

一人で話す:170spm 吃音 13.5%

会話:115spm 吃音 9.2%

※平均速度は 250-300spm

重度、速度は大変遅い

難発

余計な音(詰まった音、咳のような音)

頭や顔が動く

家族歴 50% 強い 祖父 母 伯父 妹

運動協調性(Physical coordination of movement)に問題がある

(吃音が原因で不安が増幅する等の心理的なものはない)

spm : syllables per minute の略

<セラピー>

キャンパーダウンプログラム

毎週 45 分間のセラピー

毎日 15 分の指導動画*を用いた自宅での練習

*Australian Stuttering Research Center

*Training Model Adult female transcript

2017年9月2日（2回目/通院）

自宅練習についての説明を受けた。

自宅練習の課題

指導動画(Maximum technique model)のダウンロード

10分間の朗読

10分間30秒ずつ一人で話す

朝 5分ずつ朗読と一人で話すことを行う

遅く遅く、音を繋げて話す(linking)ことを意識する

吃音重症度スケール

前回（2017年8月10日）：8

今回（2017年9月2日）：5

2017年9月4日（3回目/通院）

自宅練習の成果を見てもらい、アドバイスをもらった。

英語の新聞を朗読して音を繋げて話すことを指導される

and entertained(アンド エンターテインド)

→andentertained(アンデーターテインド)

with only second(ウィズ オンリー セカンド)

→withonlysecond(ウィズンリーセカンド)

自宅練習の課題

毎日15分の指導動画*を用いた自宅での練習

*Training model for adolescents 女子用

毎日20分の朗読

吃音重症度スケール

前回（2017年9月2日）：5

今回（2017年9月4日）：6

2017年9月13日（4回目/通院）

自宅練習の成果を見てもらい、アドバイスをもらった。

英語の新聞を朗読して音を繋げて話すこと、

「t」「d」の音を弱く発音することを指導される

自宅練習の課題

毎日10分の指導動画*を用いた自宅での練習(少し早く)

*Training model for adolescents 女子用

毎日15分の朗読

毎日10分の一人で話す

日本語でもフルーエンシーテクニックを使ってみる

吃音重症度スケール

前回（2017年9月4日）：6

今回（2017年9月13日）：8

2017年10月10日(5回目/通院)

自宅練習の課題

1日2回20分ずつ 朗読と一人で話す
(最大レベルのフルーエンシーテクニックで)

吃音重症度スケール

前回(2017年9月13日): 8

今回(2017年10月10日): 2

2017年10月19日(6回目/通院)

自宅練習の成果を見てもらい、アドバイスを受けた。
出だしの音をやわらかく言うことに気を付ける

吃音重症度スケール

前回(2017年10月10日): 2

今回(2017年10月19日): 3

自宅練習の課題

最大レベルのフルーエンシーテクニックで
少し速い速度で1日2回20分ずつ

会話

朗読

2017年11月2日(7回目/通院)

自宅練習の成果を見てもらった。

吃音重症度スケール

前回(2017年10月19日): 3

今回(2017年11月2日): 2

自宅練習の課題

毎日20分の練習

一人で話す練習(最小限のフルーエンシーテクニックで)

会話(中くらいのフルーエンシーテクニックから最小限のフルーエンシーテクニックで)

各オーディオモデルを聴く

次週のセラピー時間のための会話の話題を考えておく

2017年11月20日(8回目/通院)

自宅練習の成果を見てもらった。

口述試験のアドバイスをもらった。

吃音重症度スケール

前回(2017年11月2日): 2

今回(2017年11月20日): 2

自宅練習の課題

口述試験の練習(中くらいのフルーエンシーテクニックから最小限のフルーエンシーテクニックで)

毎日1店舗で注文や問い合わせをする(最小限のフルーエンシーテクニックで)

2017年12月4日(9回目/通院)

自宅練習の成果を見てもらった。

吃音の程度の測定と、

フルーエンシーテクニックのおさらい。

吃音重症度スケール

前回(2017年11月20日):2

今回(2017年12月4日):2

■吃音検査結果 2017年8月10日(初診時)

朗読:速度 吃音 10.4%

一人で話す: 吃音 13.5%

会話: 吃音 9.2%

■吃音検査結果 2017年12月4日(9回目)

朗読:速度 吃音 0%

一人で話す: 吃音 0.5%

会話: 吃音 0.5%

自宅練習の課題

毎日5分間一人で話す練習(最小限のフルーエンシーテクニックで)

毎日5分の朗読(フルーエンシーテクニックのレベル3で)

毎日15分×2回の指導動画*を用いた自宅での練習

2017年12月19日(10回目/オンライン)

自宅練習の成果を見てもらい、アドバイスをもらった。

出だしをやわらかく言う、音をつなげる

吃音重症度スケール

前回(2017年12月4日):2

今回(2017年12月19日):2

自宅練習の課題

毎日5分の朗読(フルーエンシーテクニックのレベル5で)

毎日5分一人で話す(フルーエンシーテクニックのレベル3で)

毎日10分会話する(フルーエンシーテクニックのレベル2で)

日常会話でフルーエンシーテクニックのレベル2を使用する

2018年2月1日(11回目/オンライン)

自宅練習の成果を見てもらった。次回通院間隔が

1か月ごとになる。

吃音重症度スケール

前回(2017年12月19日):2

今回(2018年2月1日):1

自宅練習の課題

毎日5分間自分の練習風景を録画して観察する(英語と日本語)

毎日5分間一人で話す（フルーエンシーテクニックのレベル3→1に）

2018年2月26日（12回目/オンライン）

自宅練習の課題

毎日5分間自分の練習風景を録画して観察する（英語と日本語）

毎日5分間朗読風景を録画して観察する（英語と日本語）

吃音重症度スケール

前回（2018年2月1日）：1

今回（2018年2月26日）：1

2018年3月（治療中断）

日本に帰国後も Skype 診療を薦められていたが

帰国し次にカナダに行く予定だったこともあり、家での練習を

やったりやらなかったり、通院の次回予約もしなかった。

カナダへの引っ越しに伴い、吃音が悪化し

同じスピーチパソロジーで Skype 診療を再開した。

2018年4月11日（13回目/オンライン）

カナダに引っ越し、就職活動で吃音が悪化（1→6）

喉の違和感を和らげるためキャンセレーションの

技術を教わった。

2018年5月8日（14回目/オンライン）

フルーエンシーテクニックを忘れたのでおさらい

自宅練習の課題

毎日5分間一人で話す練習

2018年6月26日（15回目/オンライン）

フルーエンシーテクニックを忘れたのでおさらい

自宅練習の課題

フルーエンシーテクニック（レベル5）の練習をおこなう

仕事の時にフルーエンシーテクニックを意識しておこなう

毎日15分の朗読

2018年7月9日（16回目/オンライン）

フルーエンシーテクニックを忘れたのでおさらい

自宅練習の課題

毎日3回1分ずつフルーエンシーテクニック（レベル5）の練習をおこなう。

2018年8月21日（17回目/オンライン）

フルーエンシーテクニックを忘れたのでおさらい。

自宅練習の課題

毎日5分間一人で話す練習

